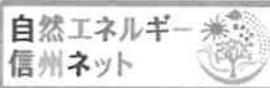


# ぐ・つぶかる

このコーナーでは、長野市内で環境活動をしている団体、施設を紹介します。

## 「自然エネルギー信州ネット」

自然エネルギー信州ネット事務局  
小田切奈々子



「自然エネルギー信州ネット」は、長野県内における自然エネルギーの普及拡大を目的として、2011年7月に設立された、市民・NPO・企業・大学などと行政機関による協働ネットワークです。自然エネルギーに関心がある誰もが参加でき、情報交換ができるオーブンでフラットなプラットフォームを目指しています。

具体的には、エネルギー別、テーマ別に9つの専門部会を組織し会員同士がお互いの立場を超えて、専門的な分野での調査・研究に取り組んでいます。また、本年度は「地域に根差した自然エネルギー事業モデルづくり」と人材育成にも注力し、県下18団体の自然エネルギー地域協議会と連携しながら取り組みを進めています。

自然エネルギー事業の主役は「地域」です。地域の自然資源や人材を活かし、自然環境を守りながら、エネルギーも

経済も地域でまわるしくみづくりが急がれています。それには資金面、技術面等の課題も山積していますが、顔の見える関係の中で課題に向き合い、アイデアや実践を積み上げながら丁寧に取り組むことが最も近道であることを実感する「場」を自然エネルギー信州ネットが提供できればと考えています。設立してようやく1年が経ち、日々試行錯誤を重ねながらの運営ではあります。ですが地域住民・企業が主体的に参加する地域イノベーション事業を生み出すために他県には例を見ない、全く新しい試みにチャレンジしています。自然エネルギー普及に関心のある企業・個人どなたでも会員として参加できますので長野県の豊かな自然を活かした

「新しいエネルギー社会」をいつしょにつくりましょう。

### 施設紹介

#### 長野県環境保全研究所 飯綱庁舎



環保研 年齢査定をする為です。被害害・駆除について、相談の電話が頻繁にかかりますよ。ここにはクマの頭部が全県から送られてきます。

環保研 クマやシカ、イノシシ等の被害害・駆除について、相談の電話が頻繁にかかりますよ。ここにはクマの頭部が全県から送られてきます。

環保研 年齢査定をする為です。被害害・駆除について、相談の電話が頻繁にかかりますよ。ここにはクマの頭部が全県から送られてきます。

環保研 環境省からの委託を受け、他県や大学等と共同研究、県農政部と協力してリンゴ等の作物への影響に関する調査研究をされていますか？

環保研 当初は自然

保護研究所という名称で、長野オリンピックが開催される2年前の1996年に発足しました。オリンピック開催中、長野県が自然保護の調査研究目的で設置した全国初の施設でした。その後、2004年4月に旧衛生公害研究所（現安茂里庁舎）と統合し、環境研究所が発足しました。

一飯綱庁舎の業務の概要は？

環保研 動植物の生態、希少野生動植物の保護・保全、自然の復元・回復等、

野生動物の保護管理、外来生物の現状と対策、地球温暖化防止、ヒートアイランド、社会経済システム・エネルギー消費の計8つの課題について調査研究業務を実施しています。

環保研 人と自然との関わり、共生を研究する場ですね。中でも野生鳥獣による農林業被害は良く耳にしますが？

環保研 クマやシカ、イノシシ等の被害害・駆除について、相談の電話が頻繁にかかりますよ。ここにはクマの頭部が全県から送られてきます。

環保研 年齢査定をする為です。被害害・駆除について、相談の電話が頻繁にかかりますよ。ここにはクマの頭部が全県から送られてきます。

環保研 クマやシカ、イノシシ等の被害害・駆除について、相談の電話が頻繁にかかりますよ。ここにはクマの頭部が全県から送られてきます。

環保研 環境省からの委託を受け、他県や大学等と共同研究、県農政部と協力してリンゴ等の作物への影響に関する調査研究をされていますか？

調査研究、また高山植物、ライチョウ、昆虫、魚類等の山岳生態系への影響も検討しています。

実は温暖化に對しては「対策」ではなく「適応策」という言葉を使っています。温暖化した気候に適応するよう社会の仕組みを変えることで、被害・影響を低減していくこうという考え方です。

一自然豊かで良い環境ですね。

環保研 夏は涼しいですよ。今夏はクリルシエアスポーツに登録しました。

この施設は、県民も共に自然との関わりを考えてほしいという趣旨で設置されたので、2階は一般に開放しており、エントランスには研究内容を展示しています。また、大・小会議室や図書室、学習交流室などがありますし、敷地内には自然観察路もあります。ながの環境パートナーシップ会議の学習交流の拠点として活用してください。現在、環保研では「信州・温暖化ウォッチャーーズ」のメンバーを募集中です。詳しくは研究所のHPをご覧下さい。

(取材 長谷川曜)

《発行》  
ながの環境パートナーシップ会議  
市民、事業者、行政の協働  
(パートナーシップ)により  
環境保全に取り組んでいます。

《編集》  
事務局  
〒380-8512

長野市大字鶴賀町1613  
長野市環境政策課内  
TEL 026-224-5034  
FAX 026-224-5108  
E-mail:kankyo  
@city.nagano.lg.jp  
URL http://nagano-ep.net/